

## 2月定例議会

2月25日(水)～3月23日(月)

2月定例議会が再開、令和8年度予算（裏面掲載）など38議案が上程されました。最終日まで補正予算等8議案が追加提案され、46議案すべて原案どおり可決し定例議会を閉じました。内容の一部についてお知らせします。

### 議案（抜粋）

#### ◇犬山市国際交流事業振興基金の設置及び管理に関する条例の廃止

目的は、広く市民の国際交流事業の振興を図るためのものであるが、必要の都度一般財源を充てる方針としたことから、基金を廃止。基金の残高23,441,766円は、一般財源に財産移動

#### ◇犬山国際交流村の設置及び管理に関する条例の廃止について

これからの国際交流事業は、行政主導ではなく、市民や市民団体間の交流、民間での経済交流に対して必要に応じて市が支援を行っていくという方針転換したため、条例を廃止する。

#### ◇犬山市附属機関設置条例の一部改正

いじめにより児童生徒が重大な被害を受けるに至った事実関係を明らかにし、重大事態への対処及び同種の事態の再発防止策を講ずることを目的とした調査や再調査が必要と認めるときに、当該調査の結果について調査を行うもの。

##### ※設置する附属機関

犬山市いじめ問題専門委員会

犬山市いじめ問題再調査委員会

#### ◇城東小学校非構造部材改修工事【補正予算】

歳入：75,807千円 歳出：77,426千円

国の交付金が昨年12月の臨時国会で補正予算として成立したことを受け、令和8年度実施予定としていた交付金対象事業を今年度に前倒して実施する必要があることから、補正予算を計上

#### ◇学校体育館空調設備設置工事設計業務

【補正予算】 15,752千円

空調設備が未設置である体育館へ令和8年度に小

学校10校、令和9年度に中学校4校の整備を行う計画で、そのための設計業務を委託

## 2月定例議会 私の一般質問(要約)

### （質問）犬山城下町の観光状況について

Q 昨年11月の衆議院予算委員会における高市首相発言を巡り、中国が日本への渡航自粛要請を行った一方で、昨年の海外からの渡航者が4,200万人を超え、過去最高を記録したようです。そこで、当市への観光に係る状況の変化について、また、ゴミ・騒音・マナーなど、周辺環境の変化状況についても、お訊きします。

A 当市の令和7年の宿泊者数は、20万6,434人。うち、外国人宿泊者は、44,715人で約21.7%、このうち中国からの宿泊者は、7,846人で、全体の約17.5%です。台湾有事を巡る発言があった昨年11月以降直近3ヶ月の中国からの宿泊者数は、対前年比で約42.1%と大きく減少していますが、外国人宿泊者数全体では、対前年比で3%程度の減少に留まっている状況であり、さらには国内旅行者を含めた総宿泊者では、約0.9%の増加となっています。これは、中国からの旅行者が減少した分を、国内旅行者及び中国以外のインバウンドが補い、結果として増加したものと捉えています。また、ゴミ・騒音・マナー等については、中国人観光客の減少による特段の変化は見られませんが、引き続き、観光客へのマナーアップの啓発

（裏に続く）



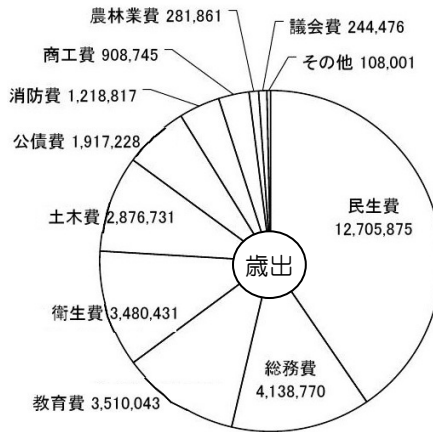
これまでの一般質問や答弁については、ホームページからご覧いただけます。市政について判らないことなどがございましたらお気軽にご相談ください。



# 令和8年度予算について

『必要ところに 暮らしを支える予算』

全会計当初予算 総額 514 億 2,994 万 2 千円で前年度比 6,674 万円増 (0.1%の増加)。このうち、一般会計は、総額 313 億 9,097 万 8 千円、5つの特別会計の合計 140 億 5,875 万 2 千円、水道事業と下水道事業の企業会計を合わせて 59 億 8,021 万 2 千円となっています。



一般会計 款別歳出



一般会計 款別歳入

単位：千円

## 新年度事業（抜粋）



犬山駅西口に電子掲示板設置 419 万円



市民交流センター 長寿命化 4,063 万円



タクシー補助 4,574 万円



善師野防災公園整備 2 億 2,846 万円



各種予防接種実施 3 億 645 万円



消防ポンプ車更新 5,513 万円



中央病院先端医療機器導入補助 1 億 3,610 万円



小中学校給食費無料化 3 億 4,532 万円



城中整備実施計画 2 億 926 万円



橋爪・五郎丸地区公園整備 2 億 490 万円

や事業者との環境美化活動を実施し、持続可能な観光まちづくりへの取組みを日々積み重ねて参ります。

### （質問）防災ラジオについて

**Q** 新年度予算をみますと、30 台分の予算が計上されているようですが、今後どのような市民を対象にどれくらい配備予定なのか。また、一般家庭への配備が始まるのはいつ頃なのかなど、今後の中期的なスケジュール感についてお示ください。

**A** まずは当初予算の 30 台分を完売する想定です。購入対象としては、今までの対象者に加え、昨年 10 月に倒木により孤立した栗栖地区にお住まいの方を優先して加えていく



市が 1,000 円で販売している FM ラジオ



都市計画道路蟬屋長塚線整備 4 億 263 万円



2 市 2 町新ごみ処理施設整備 4 億 4,084 万円 (犬山市負担分) 令和 10 年 4 月稼働予定

ことを予定しています。また、今後の販売についてですが、防災ラジオを優先的に必要とする世帯を順次対象としていき、具体的な日程は定めていませんが、いずれは防災ラジオを必要とする全ての世帯に販売できるよう進めていきます。